

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●全日本新人王争覇戦にJRAから騎手3名が参加

1月24日(火)に高知競馬場で行われる「第37回全日本新人王争覇戦」に、JRAから今村聖奈騎手(栗東・寺島良厩舎)、角田大河騎手(栗東・石橋守厩舎)、小沢大仁騎手(栗東・松永昌博厩舎)が参加することとなりました。この競走は初免許取得後5年以内の騎手のうち、騎乗技術などにおいて他の新人騎手の模範となる騎手が招待されるものです。

●アグネスフライトが死亡

1月11日(水)、アグネスフライト(牡26歳)が老衰のため死亡しました。同馬は2000年東京優駿(日本ダービー・GⅠ)を制するなどJRA通算14戦4勝の成績を残して引退、種牡馬入り。種牡馬からも引退した後は北海道千歳市の社台ファームなどで乗馬・功労馬として繋養されていました。

●オジュウチョウサンらの競走馬登録抹消

中山グランドジャンプ(J・GⅠ)は5連覇を含む計6勝、中山大障害(J・GⅠ)は3勝など障害競走で数多くの記録を残したオジュウチョウサン(牡11歳/美浦・和田正一郎厩舎/JRA通算40戦20勝)、2019年・2021年香港ヴァーズ(GⅠ)などの勝ち馬グローリーヴェイズ(牡7歳/美浦・尾関知人厩舎/JRA通算15戦4勝・海外5戦2勝)、2019年朝日杯フューチュリティS(GⅠ)などの勝ち馬サリオス(牡5歳/美浦・堀宣行厩舎/JRA通算14戦5勝・海外1戦0勝)、2021年大阪杯(GⅠ)などの勝ち馬レイバパレ(牝5歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算13戦6勝・海外2戦0勝)、2021年アイルランドトロフィー府中牝馬S(GⅡ)の勝ち馬シャドウディーヴァ(牝6歳/美浦・斎藤誠厩舎/JRA通算31戦3勝)は、2022年12月27日(火)までに競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。オジュウチョウサンは北海道日高町の坂東牧場、グローリーヴェイズは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーション、サリオスは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬となり、レイバパレとシャドウディーヴァは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●年度代表馬はイグナイター(兵庫)、NARグランプリ2022

NARグランプリ2022の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬と最優秀短距離馬も受賞のイグナイター(兵庫)、2歳最優秀牡馬はヒーローコール(浦和)、2歳最優秀牝馬はメイドイットマム(船橋)、3歳最優秀牡馬はシルトブレ(北海道)、3歳最優秀牝馬はスピーディキック(浦和)、4歳以上最優秀牝馬はサルサディオオーネ(大井)、ダートグレード競走特別賞にはショウナンナデシコ(JRA)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は打越勇児調教師(高知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞は吉村智洋騎手(兵庫)、最優秀賞金取得騎手賞は矢野貴之騎手(大井)が受賞しています。

●金杯(水沢)は牝馬ミニアチュール[各地の主要3歳重賞]

金杯(1月3日、水沢、1600^米)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立った北海道からの移籍馬ミニアチュール(牝、父ラブリデー)が4馬身差で楽勝、1番人気に答えて重賞初制覇を果たしました。

●ヴァレーデラルナが登場、1月25日のTCK女王盃(大井)

TCK女王盃(JpnⅢ、1月25日、大井、1800^米)は、JBCレディスクラシックまで4連勝中のヴァレーデラルナが最有力、以下グランプリッジ、テリオスベル、プリティーチャンス、ナンヨーアイボリーまでが争奪圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G2アルラシディヤ〜ヴァリアントプリンスが制す

現地1月13日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたG2アルラシディヤ(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、芝1800^米)は、J・ドイル騎手が手綱を取ったヴァリアントプリンス(騷5歳、C.アップルビー厩舎)が内ラチ沿いの4番手追走から直線で鋭く伸びて優勝しました。ヴァリアントプリンスは父が昨年の英愛首位種牡馬ドバウイ、母がG1メイトロンSの勝ち馬チャチャメイディーという良血。昨年6月にイギリスで制したリストレッドのガントンス(芝1580^米)からの連勝で重賞初制覇となりました。

●シーキングザダイヤがチリのチャンピオンサイヤーに輝く

チリのスタッドブックによる同国の2022年における種牡馬統計がまとまり、シーキングザダイヤ(牡22歳、父ストームキャット)が取得賞金11億2590万3500^米(約1億7427万円)で2016年以来2度目となるチャンピオンサイヤーに輝きました。日本でニュージーランドトロフィー(GⅡ)や日本テレビ盃(JpnⅡ)などを制したシーキングザダイヤは、現在チリのドンアルベルト牧場で供用中。2022年はG1ポーリャデポトリヨス(芝1700^米)を制したミエレヒド、G1アルトゥーロリオンペニャ賞(芝1600^米)を制したソスヘニアなどが活躍しました。※シーキングザダイヤの年齢は2023年現在のもの。